

1. 死亡状況

(1) 死亡状況

粗死亡率は、香川県より低く全国より高くなっています。粗死亡率は高齢化の影響が考えられるので、年齢調整死亡率で比較すると男女とも全国並みといえます。全国を100とした標準化死亡比(SMR)でみると、全国より低く、死亡状況は全国並みか、それより良好といえます。

65歳未満の粗死亡率は全国並みであり、65歳早死損失年は全国・香川県より低く、早世死亡の状況は比較的良好といえます。

全死亡 死亡率は人口千対 ●1999年-2003年の5年間

	丸亀市	香川県	全 国
粗死亡率	8.7	9.2	6.4
年齢調整死亡率 男性	6.3	6.2	3.3
年齢調整死亡率 女性	3.2	3.2	1.9
65歳未満粗死亡率	1.9	1.9	2.6
65歳未満粗死亡率 男性	2.6	2.6	1.2
65歳未満粗死亡率 女性	1.2	1.3	32.7
65歳早死損失年 男性	32.0	33.3	17.5
65歳早死損失年 女性	15.9	17.3	100.0
SMR 男性	97.8	96.6	100.0
SMR 女性	99.4	98.4	

- 年齢調整死亡率:年齢の影響を除いて算出する死亡率
- 65歳早死損失年:65歳まで生きられなかった人が、65歳まで生きられるはずだったとしたら、「何年損したか」を見る指標。これが大きいほど、その地域での早世(若死)による負担が大きなことを示す。
- SMR:標準化死亡比。全国を100として年齢の影響を除いて死亡状況を見る指標

(2) 死因別死亡

死因別死亡では、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患のいわゆる三大生活習慣病で57.3%を占めています。ついで、肺炎、不慮の事故、自殺の順となっています。

全国を100とした標準化死亡比(SMR)でみると、3大死因の悪性新生物は男女とも全国より低く、心疾患・脳血管疾患は、男女とも概ね全国並みです。不慮の事故は、男女共に高くなっています。